因幡

<INNOVA>

2005

京都会議に参加して

理事長　涌本知彦

昨年１０月２３日に発生した新潟県中越大地震は、甚大な被害を引き起こし、地域住民や経済に深刻な影響をもたらしました。この豪雪で2次被害も起こっており、予断を許さない状況であります。お亡くなりになられた方へ心からお悔やみを申し上げますと共にいち早く復旧することを願って止みません。

被災地小千谷市にある小千谷ＪＣでは復興へ向けた「シール募金」を始められました。シールを作成、販売し、１枚１円の差額を募金として集めようとするものです。そのシールを多くの人が、様々な場所で見ることにより、復興への願い、関わりの輪を広げるものであり、メーカーなどが自社の製品に貼り、企業の社会貢献を可能にし、経済的にも効果を上げようとしています。これはただ単にお金を集めるだけでなく、工夫をしてその効果を大きく広げていく、ＪＣらしい素晴らしい取り組みだと感じます。小千谷ＪＣのＨＰには「全国の皆様と穏やかに繋がっていることを認識できる安心感と私たちも『頑張っている姿』をお伝えする新しい仕組みである。」とあります。まさにＪＣ創始の精神「青年の自然発生的に生まれる運動」「上から作られるものでなく、あくまでボランタリーな運動」に通じるものであり、あらためてその取り組みに対して敬意を表し、心から応援をしたいと思います。

そして、新年恒例の京都会議が開かれ、例年通り多くのメンバーと共に参加をしました。本年は更に、参加する意義を会員全員で理解し、多くのメンバーで参加をすることを掲げ、総務委員会には 参加しやすく、参加したくなるような 運営を行って頂きました。例年とは若干違った行程になりましたが、伝統 ″と″ 習慣 ″を考えるいい機会になったと思います。最終日の高竹会頭の年頭所信では、日露戦争の話の中で百年前の日本人の気概を例に、今の日本人の根底に欠けているもの、必要なものはなにかを明らかにされ、道徳力の再生を目的に、その手法として「ＪＣ発日本国憲法改正案」の提案を明言されました。青年らしい直球の所信であったと清々しくまた誇らしく感じました。また、その後にリーダーシップの重要性を説かれ、まさに背中を押してもらっているような、多大なる応援を頂いたと感謝をしています。皆さんもそれぞれの立場で会頭のお言葉を受け取り、きっと勇気づけられたに違いないと確信しています。

我々はＪＣにおいて一年間の役割を担い、一所懸命に活動をして、己の能力の向上を目指します。我々はそのトレーニングのためにこのＪＣに所属しています。京都会議もお陰様で無事に終わり、ここからが年度本番です。一緒に頑張っていきましょう。

2005年度日本JCスローガン
″JC New Generation″ 新たなる日本の夢に向かって

(社)鳥取青年会議所　会報誌　Tottori Junior Chamber Inc.2005 JC report

2005年鳥取JCスローガン
静と動
～あらまほしき因幡をめざして～

2005年重点方針
市民協働によるまちづくりの実現
リーダーづくりアクションの実施

スケジュール

2月 21日 (月)	青雀会 (アポロ)19:30～
3月　3日 (木)	若草学園お楽しみ会
3月　8日 (火)	3月理事会
3月 16日 (水)	3月定例会

2005年度前期新入会員紹介

山内　一峰（やまうち　かずみね）　　生年月日　S49/9/5
会社名　　Photo Stage 山内写真館
所在地　　鳥取市元町 227

若草学園お楽しみ交流会のご案内

時間	内　　容	
8:30	集合　　若草学園　まちの輪創造委員会 打ち合わせ　　鳥取大学障害児教育教育研究会 クッキング準備　　研修会員 体育館準備	
9:45	集合　　若草学園集会室	四役・他委員会
10:00	開会式 １・「手遊び」「おはようのうた」園児・園職員 ２・園長先生挨拶　　原園長先生 ３・(社) 鳥取青年会議所理事長挨拶　涌本理事長 ４・後援会費贈呈　　涌本理事長 ５・一日の流れ説明 森田委員長	
10:15	親子クッキング 机の移動・材料設置園職員・他委員会 ころりんケーキ作り各テーブルにつく 「いただきます」　園職員	
10:45	湖山西公民館体育館へ移動	
10:50	歌　　園児・園職員	
11:00	お遊戯 新聞紙遊び　　各コーナーへ 写真撮影　全員	
11:25	若草学園訓練室へ移動	
11:30	昼食会　　登録した方のみ	
12:30	後片付け・解散	

理事会報告

審議事項
（１）２００５年度 社団法人 鳥取青年会議所 新年祝賀会 事業報告(案)承認の件
（２）施設交流「若草学園お楽しみ会」事業計画(案)承認の件
（３）２００５年度　社団法人　日本青年会議所　中国地区　鳥取ブロック協議会会長公式訪問例会（２月定例会）次第 (案) 承認の件
（４）出向人事 (案) 承認の件
①千代川流域圏会議　　委員
②北方領土返還要求運動鳥取県民会議　委員
③鳥取空港の利用を促進する懇話会　　委員
④鳥取砂丘景観保全協議会　　構成員
⑤鳥取砂丘新発見伝実行委員会　　理事
委員
⑥鳥取市総合企画委員会　　委員
⑦「日韓友情年２００５」鳥取市記念事業推進委員会　　委員
⑧鳥取市バス活性化協議会　　委員
⑨ふれあい広場運営委員会　　委員
⑩鳥取市特別職報酬等審議会　委員
⑪皆様の天ぷら廃食油が地球を救う会　委員
（５）　その他
１２．協議事項
（１）その他
１３．報告事項
（１）各委員会
（２）出向理事
（３）その他
定例会前食事休止の件
2005年度ブロック会長公式訪問例会
１４．次回開催日の確認〔　２００５年　３月８日(火)　〕

青雀会

1月青雀会報告

青雀会　副会長　今井敏明

去る１月２４日(月曜日)１月青雀会が開催されました。
当日は、京都会議の翌日ではありましたが、元気なメンバーが続々と結集し熱戦が繰り広げられました。
２００５年度のスタートを飾る１月優勝者は涌本理事長でした。
最近は、青雀会にも高齢化？(固定化)の波が押し寄せています。普段、あまり話さないメンバー等と気軽に交流を図れる場所ですので、奮ってご参加ください。(初心者向けヒヨコ有ります)
次回開催日は２月２１日(月)１９：３０～アポロです。また、３月には委員会対抗も企画しております。宜しくお願いいたします。

青雀会１月得点

順位	名　前	１月	ＯＢ合同	合計	１月順位
1	涌本	65,500		65,500	1
2	島津	26,100		26,100	2
3	水野	22,200		22,200	3
4	田渕	20,100		20,100	4
5	松本	18,100		18,100	5
6	浜崎	4,900		4,900	6
7	安陪	-3,600		-3,600	7
8	今川	-7,200		-7,200	8
9	岡村	-11,200		-11,200	9
10	妹尾	-22,300		-22,300	10
11	山本 (竜)	-44,100		-44,100	11
12	山根 (一洋)	-16,200		-16,200	12
13	戸田	-32,400		-32,400	13

ひよこクラブ

順位	名　前	１月	ＯＢ合同	合計	１月順位
1	西尾	-1,100		-1,100	1
2	大月	-1,000		-1,000	2
3	杉本	-7,900		-7,900	3
4	山根 (和也)	10,000		10,000	4

URL http://torijc.hal.ne.jp

編集/発行　(社)鳥取青年会議所　マルチメディアコミュニケーション委員会　鳥取市本町3-102　商工会館別館　tel0857-24-1638

2005 京都会議 開催

高竹会頭の年頭所感を聞き（社）日本青年会議所の方向性を認識し、各セミナーにも参加し知識を得る良い機会となりました。

（社）釧路青年会議所との合同ロムナイトで懇親を深めることができました。

例年と違った趣でロムナイトが開催されました。

京都会議を終えて

総務委員会
委員長　西垣　豪

去る1月22日（土）、23日（日）の二日間行われた京都会議に際し、お忙しい中多くのメンバーに参加を頂きましてありがとうございました。2005年度の京都会議では「誰でも参加できる。そして、参加したくなる京都会議」を目指し、総務委員会において検討を重ねスケジュール、内容等を変更させて頂きました。

このことは、会頭の所信を聞くことができる京都会議に多くのメンバーで参加する意義を再認識し、また、今後も含めて運営の方法をメンバーの皆様に再検証して頂きたく行いました。懇親会とLOMナイトの一体化、LOMの拘束時間の短縮、委員会別に宿泊していただくことなど皆様いかがでしたでしょうか？

また、今回釧路JCの設営となりました合同LOMナイトにおいては、京都会議に参加頂いたすべてのメンバーに出席いただき、また精一杯懇親を深めていただけたと思います。姫路で行われます全国会員大会では鳥取の設営となります。釧路JCに負けないよう全力で運営に努めてまいりますので、皆様その折にはよろしくお願い致します。

そして、二日目の新年式典においても多加メンバーの真剣に会頭所信を聞いている姿が印象的でした。もっともっと多くのメンバーでこの京都会議に参加しなければと強く感じました。

全体を通して、総務委員会一丸となり精一杯運営に努めてまいりましたが、至らぬ点も多々あったと思います。最後までスムーズな運営ができたのも参加頂いたメンバーの皆様のご理解とご協力があったからだと考えております。ほんとうにありがとうございました。

今後もサマコン、全国大会と全国規模の大会が控えています。研修会員やしばらく全国規模の大会に参加していないメンバーの皆様にも積極的に参加して頂けるよう、そして満足して頂ける様、運営においてメンバーの皆様の声を聞きながら工夫をしていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

京都会議について

前期研修会員　田淵　宏一

入会早々だったのですが、京都会議に参加させて頂くことができました。

最初は鳥取青年会議所のこともほとんど知らないのに全国規模の京都会議に参加してどうなるのだろうと思っていました。

初日は通常総会、人間力開発プログラムセミナー、経営資質向上セミナーに参加しました。

人間力開発プログラムセミナーは短時間の参加であまり内容はよく分かりませんでしたが、おそらく気づきを得る内容のように思いました。

私も以前高橋シニアというトレーナーからコーチングを受けたことがあり、その時受けた強い衝撃を思い起こすことができました。

経営資質向上セミナーでは大久保寛司氏の「企業理念とリーダーシップ」という講演を聴講しました。その中で特に印象的だったのが、『思い』を持ちそれをメンバーと共有することでその『思

前期研修会員第1回研修会を終えて

人間力開発委員会
委員長　小池　誠

2月4日（金）に前期研修会員第1回研修会を行いました。理事長の力強い挨拶の後、青年会議所の概要、歴史の説明を行い、JCの特徴と誕生の経緯について学んで頂きました。次に青年会議所の組織の一員としての行動指針である『JCIクリード』、『三信条』、『JC綱領』、『JC宣言』などの基本理念について、またJCIからLOMまでの組織の説明を行いました。次にマナー用語解説として、特に「時間」と「マナー」について厳しく言いましたが、これからは青年会議所のメンバーであることを自覚を持ち行動して頂きたいと思います。次に、各委員会説明を行いました。研修会員がそれぞれ配属された委員会を理解する事はもちろんですが、委員会メンバーと積極的に関わって絆を深め委員会活動を活発に行ってもらいたいです。また、因幡こどもまつりの説明を聞いて頂きました。これは研修会の中で、こどもまつりの企画、運営に参加し、実際の事業の中で行動することで、研修会員が鳥取青年会議所を早く深く理解できるのではないかと考え、企画しました。まだこれからの研修ですが、良い研修となるよう工夫していきたい思います。短い時間で、かなりの情報量を詰め込む形となりましたが、皆様真摯に研修を受けていただきました。日々のJC活動もまた「研修」です。配属の委員長様はじめメンバーの皆様も、研修会員のご指導をよろしくお願い致します。

第二回鳥取ブロック協議会を終えて

鳥取ブロック協議会
監事　寺本　光孝

一月三十日（日）東伯のスイングパレス高砂殿にて、第一回鳥取ブロック協議会が開催されました。ブロック役員は正副役員会議から、理事長・専務理事におかれましては会員会議所会議から、そしてメンバーの方々はブロック協議会からの出席、さらに会場が東伯インに移されて懇親会へ・・・と大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

ブロック協議会においては、井木ブロック会長より、一歩を踏み出そう～勇気と謙虚さを持って～　というスローガンのもと、「JCは青年の学び舎である」みんなと喜びや苦労を分かち合い、共に学び、成長し合う。これからの時代をみんなで切り開いて行こう。と力強い所信が述べられました。また、副会長、各委員長の方々より事業計画の説明がなされました。どの委員長方も気合十分で望まれました。皆さんに有意義で吸収力のある事業ばかりです。ぜひ、参加して頂き自己のスキルアップに役立てて頂きたいと思います。

最後になりましたが、鳥取青年会議所からもたくさんの人に来て頂きました。感謝申し上げます。会場をみまわしメンバーの顔が見えた時、皆さんの支えによって出向メンバーが成りたっているのだと感じました。本当にありがたかったです。それと同時に自分の置かれている立場というものが非常に重要だと言う事に改めて痛感した一日でした。

鳥取ブロック協議会出向に当たって
明日の鳥取県を考える委員会

委員長　井関　孝嗣

2005年度、（社）日本青年会議所、中国地区、鳥取ブロック協議会に出向させていただきます。それも、委員長として。最初にお話を頂いたときは、とてもつとまらないと思い、お断りしようかな？と思っていました。しかしながら、せっかく理事長にお話を頂いた事と（理事長は私が断ると思っておられたかもしれませんが）自分自身を高めるにはいい機会になるのではないかと思ったので、無謀な挑戦とは思いながらこのような大役を受けさせていただきました。

何もかもが初めてのことであり戸惑うばかりで、皆様には御迷惑を掛けっぱなしで申し訳なく思っております。しかしながら、自分自身精一杯努力しようと思う気持ちは変わっていません。皆様、御協力宜しくお願い申し上げます。

ここで少し今年の「明日鳥」について触れておきたいと思います。今年は、1、地域主権型社会推進に関する調査研究、2、道州制を鑑見た地域力の調査研究、3、行政等関係諸機関との密な連絡、この3つを大きなテーマとして活動してまいります。道州制、地域力等とても難しい問題ですが、委員会メンバー協力して、精一杯取組んでまいりたいと思っております。皆様に御協力いただかなければならないことがたくさんあると思います。その時には快く引き受けていただければ幸いに思います。

皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2005年度 前期新入会員紹介

浦林　浩樹

ことと為り、今の心境を一言で言い表すと期待と不安でいっぱいといったところです。

当初、会社の上司より入会の打診を受けたとき、正直断るつもりでした。私の中のJCに対するイメージが、自分の時間がなくなるとか、お金がかかるとかあまりいいものではなかったからです。しかし、いろいろと考えていく中で、時間のマネージメントもこれからの自分に必要な能力であり、何といっても幅広い異業種交流ができることが今後の自分の成長の糧になると思い、入会を決断しました。

会社出向であるためなかなか自分の思うように時間が使えない事もあるとは思います。

ただ、長続きさせなければ意味はありません。会社、家庭、JCのバランスを上手くとりながら、JC活動に参加し、地域の発展に少しでも貢献できればと考えております。今後とも宜しく御願い致します。

徳田　章子

この度、JCに入会させて頂いた徳田章子です。鳥取市内で生まれ育ち、高校を卒業した当時しでも無く何となく就職した会社を一年弱で退職し、再就職も勤務条件位で入社しました。

その間、業事務を経て家業である母の跡を継ごうと決め、理美容専門学校に通い美容師になりました。美容師は嫌いではないという感じで免許を取り、気分転換も兼ねて始めたバイトが今の店を持つことになりました。思えば自分から何かしたいと行動したのは初めてのことでした。数年前バイト先で出会った方に某選挙の手伝いをしないかと誘われ微力なりに参加させて頂きそこで何か達成感のようなものを感じました。沢山の人々と出会える仕事が出来その中で自ら成長できる人生…そこでJCをへの入会を決意致しました。諸先輩方を見習い社会に役立つ人生を送りたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

青木　隆之

この度、縁あってJCに入会させて頂くこととなりました。

所属委員会は循環型社会創造委員会です。JCとは、職場や日常生活などでは体験できないことや、自分が苦手としていることにチャレンジすることができる場所だと思います。未熟な私に、積極的に活動していきたいと思います。

はたして初志貫徹できるものか、多少の不安は残っておりますものの、先輩方にご指導いただきながら、地道に努力していくつもりです。何もかもが初めてのことでご迷惑をおかけることも多々あろうかとは存じますが、精一杯頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

山内　一峰

皆様はじめまして。山内一峰と申します。大正時代から続く山内写真館の四代目になります。おりましたが、家業の多忙を理由にお断りしておりました。この度、三店舗目となるホテルニューオータニ鳥取写真室のオープンと弟が家業を手伝ってくれるようになったことを機に入会さ1974年生まれの30才。鳥取西高・日本大学芸術学部写真学科を卒業の後、三年半ほど、福岡で毎月三千組の結婚式の撮影を担当する写真館で修行しました。とりあえず鳥取へ帰ってもそこで学んだ事をそのままやろうと思い、現在でもブライダルをメインに子供さんや御家族の撮影を行っております。

これからJCでも、皆様から様々な刺激を受け頑張っていこうと思いますのでどうぞよろしくお願いい致します。

田淵　宏一

2005年度前期新入会員として入会致しました田淵宏一です。宜しくお願い致します。

入会前には青年会議所は知ってはいるものの、どのような活動を行っているかほとんど知らず、未知なる世界に飛び込んだ感じでした。

入会後鳥取青年会議所にたくさんの人と出会い、一つの事に向かって皆様と共に活動していくことになります。様々な出会いや活動を通じてより多くのことを学び、感じ、そして気づきを得て自己研鑽していく中で新たなる『自分』を発見できたらと思うと共に、大きな心の器が持てるよう取り組んでいきたいと思っています。

皆様どうぞ宜しくお願い致します。

この度、皆さんの仲間入りさせて頂いた『庭の簡単は…』代表　岡本　泰幸です。

昭和50年、9月4日生まれ、今年30歳です。専門学校を卒業の後、建設会社に入社し、土木監督しました。頑張っていました。フリーの現場監督をしながら造園業を勉強し、結婚を機に父の跡を受け『庭の剪定屋　わかば』の代表として、造園業・土木業に携わっています。

子供・従業員を目前に、青年会議所に入会でき、嫁・実行力を広げたいと思い、会に入会しました。

今年は、鳥取青年会議所の一員として恥じぬ行動をし、配属の『日本一誇り創造委員会』にて鳥取・因幡が盛り上がる『まつり』を創造していきたいです。

この度は直前理事長の岩成様のご紹介ではありますが、鳥取青年会議所の門を叩きました、株式会社フルチャージの北村といいます。

関西出身の私にとって、一員をしてお迎えしてだけるのは大変光栄に思います。

スキル・ノウハウ…と様々な事を高めて行きたいと考えています。

当初は、まったく知らないような世界かな、というイメージがありましたが、いろいろ概要などを聞くにつれ、興味・関心を寄せることが多々ありました。今後はいろんなことに前向きにチャレンジし、参加していこうと考えております。

また、「鳥取に骨を埋めるつもりで」関西からこちらに会社の立上げで来ているので鳥取を活性化させるのも自分の使命のように思えてしようがありませんでしたが、この JCに入った事も必然だったのかな、と考えます。

まだまだ未熟な存在・私ですが、これから在・社会での存在・私でありたく、自分自身の世界を大きく、若い力を存分に発揮していける環境にめぐり合えたことが出来ることが、思い描く理想、その理想を現実に代えることに、努力・精進・修行をしていきたいと考えております。よろしくお願いします。

北村　敏春

この度、鳥取青年会議所に入会させていただくこととなりました佐々木雄一と申します。先日初めて定例会に出席させて、正直なところ、多少戸惑いを感じておりました。一方で、緊張の中、皆様の真剣な姿勢を拝見し、また、涌本理事長よりJCバッチを授与されたときは大変身の引き締まる思いでした。

これから青年会議所の活動を通じ、多くの方々と出会うことで、自分自身の世界を広げ、また委員会の活動を通して、自己修練の場とするため努力してまいりたいと考えております。

そしてその成果を今後の自分自身のためにおよびそのメンバーの参加をお待ちしております。

佐々木　雄一

この度、鳥取青年会議所に入会させていただくこととなりました佐々木雄一と申します。

先日初めて定例会に出席させていただきました。

これから青年会議所の活動を通じ、多くの方々と出会うことで、自分自身の世界を広げ、また委員会の活動を通して、自己修練の場とするため努力してまいりたいと考えております。

そしてその成果を今後の自分自身のためにおよびそのメンバーの参加をお待ちしております。

これからJCでも、皆様から様々な刺激を受け頑張っていこうと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

年頭感（分科会）

じゃがいも会

会長　安陪　幸伸

本年、じゃがいも会の会長を務めることになりました安陪です。

青年会議所には二つの文化団体があります。一つは青雀会、もう一つはじゃがいも会です。

青雀会は頭脳使う知的な会ですが、じゃがいも会は私と同じく頭を使うことは少しで体力勝負を必要とする会です。ですが、実は日本青年会議所にもじゃがいも会は有り全国の各地青年会議所にも有るメジャーな会なんです。だからなんだと言われると困るんですが、ようは誰でも気軽に参加できる会だと言うことです。

今年は委員会対抗とOB合同を含め年間4回の開催を予定しています。参加して楽しい運営を幹事ともに現在、企画しておりますので、多くの皆様の参加をお願いいたします。

PS　登録もお願いいたします。

青雀会

会長　岡村　裕

本年度、青雀会の会長を勤めさせていただきます。分科団体は、ある種の組織の活力であり、潤滑油の役割となります。また、数少ない先輩方との交流の場でもあります。その中で気遣いや気配り、先輩との懇親やメンバー同士の交流と多くの事を学ぶことが出来る場と考えています。

青雀会の会員に参加する方々が出来る場と考えています。

6年ぶりですが、当時の運営を思い出しながら参加していただいたメンバーにより楽しく過ごしていただくよう幹事団で心を込めて運営してまいります。経験者はもちろん、初心者も未経験者も多くのメンバーの参加をお待ちしてます。

一年間、よろしくお願いいたします。

チームワーク

野球部
監督　藤木　巧

2005年度伝統ある鳥取JCの野球部監督を受けさせていただき、緊張感と期待感で一杯です。私自身入会当時から野球部に所属しており、悔しい思いや感動的な場面など普段では味わえない、いろいろな経験や体験してきました。

最近の野球部はもう少しのところでという悔しい経験をし野球に対するストレスがかなり溜まっているように思います。それを打破すべく監督就任を期に上昇野球部を復活させたいと思っております。

それをするには、一つのキーワードが大切になります。それは皆が目標を持って立ち向かい互いに支え合うチームワークです。野球は一人では出来ません、それがベンチに入るメンバー一人でも欠けると野球は成り立ちません。スポーツ全般に共通することですが、最終的に強いチーム・選手はチームのサポートが充実し仲間意識の高い所が結果を出しているように思います。

今年私は野球部でメンバーと結果を求めるのはもちろんですが、「この瞬間、今みんなで野球をやってて良かった」と思えるチームづくりをしたいと思います。

抱負

バレー部
監督　森原範彰

JCに入会して15年。いよいよ私も40歳。ストイヤーとなりました。様々な経験をさせていただきました。しかし、考えてみれば、麻雀もゴルフも私は全くできません。ですから青雀・じゃがいものお世話役も当然やらせていただいたことがありません。学生時代はバスケットをしていたので、スポーツ大会の3つの競技もあまり縁がなく、選手として出場はしてきましたが、積極的に関与してきたわけではありません。（苦笑）JC活動の中でも、極めて縁の薄かった活動だと思います。

このようなお役をいただいてまさしく"最後の修練"。誠に不安であります。

しかし、大変ありがたい。戦略をはりめぐらし、努力を重ね、大会では大きな成果を残したいと密かにねらっています。頑張ります。ご支援ください。

純血のソフトボール部かと問われるとそうでもない。又、野球部に所属していたが、常にレギュラーかと問われると、これまたそうでもない。この様な私でしたが、数年前、金銭トレードにて正式にソフトボール部へ移籍し、今年、監督をさせて頂く事になりました。「常勝」と言われていた頃と比べて何が欠けているのか考えました。結果、チームワークではないかと思いました。近年、各地へ現地集合そして現地解散。これでは意思の疎通が全然出来ないではないでしょうか。今年は、こういう事を無くしてみんながバスに乗り込み、楽しく行こうではありませんか。みんながレギュラーです。全員で勝利を勝ち取りましょう。

負

バレー部
監督　森原範彰

JCに入会して15年。いよいよ私も40歳。ストイヤーとなりました。様々な経験をさせていただきました。しかし、考えてみれば、麻雀もゴルフも私は全くできません。ですから青雀・じゃがいものお世話役も当然やらせていただいたことがありません。学生時代はバスケットをしていたので、スポーツ大会の3つの競技もあまり縁がなく、選手として出場はしてきましたが、積極的に関与してきたわけではありません。（苦笑）JC活動の中でも、極めて縁の薄かった活動だと思います。

このようなお役をいただいてまさしく"最後の修練"。誠に不安であります。

しかし、大変ありがたい。戦略をはりめぐらし、努力を重ね、大会では大きな成果を残したいと密かにねらっています。頑張ります。ご支援ください。

抱負

ソフトボール部
監督　寺本　光孝